科目名	56．継続看護				
履修年次	2年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	その人が自分らしい生活を送るために必要な継続看護を理解することができる				
到達目標	継続的に支援が必要な生活者を支えるための看護を表現することができる				
評価方法	筆記試験（40点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（60点）による総合評価を行う				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　看護学概論　基礎看護学①　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　臨床看護総論　基礎看護学④　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学総論　成人看護学①　医学書院				
参考文献	必要に応じて事前に提示				
教育方法と学生への期待 (求めること)	継続看護とは、看護の対象となる人々の療養生活における継続性と、療養の場の移行や健康状態の変化に関わらず一貫した看護が提供されるといった看護の質的な継続性を意味しています。継続的な支援を必要とする人々の理解を深めた後、事例演習を取り入れて学んでいきます。グループ・個人で演習を進めていきますので、予習・復習を行い積極的に講義・演習に臨みましょう。				

回	学習項目	学習内容	授業 方法
1	授業ガイダンス 継続看護とは	患者及び家族の特徴理解 看護の役割の理解	講義 演習
2	看護の特徴 外来と看護	経過別看護の特徴と理解 外来看護の特徴	講義
3	継続的な支援を必要とする人の理解	患者会を招き講演会	演習
4	疾病をもった対象に対して自己管理を支援するための教育方法	学習支援について／セルフマネジメント／自己効力	講義
5	看護実践に有用な理論等	エンパワーメント／アドヒアランス／障害受容論／ セルフケア／病みの軌跡	講義

6	継続看護における看護技術	体位ドレナージ 簡易血糖測定	演習 (実習室)
7		事例疾患①② 情報収集、アセスメント、看護計画	演習
8		事例疾患①② 情報収集、アセスメント、看護計画	演習
9		事例疾患①② 情報収集、アセスメント、看護計画	演習
10		事例疾患①② 情報収集、アセスメント、看護計画	演習
11	継続看護を考える	事例疾患①②　看護の実践、報告	演習 (実習室)
12		事例疾患①② 情報収集、アセスメント、看護計画	演習
13		事例疾患①②　看護の実践、報告	演習 (実習室)
14		事例疾患①② 情報収集、アセスメント、看護計画	演習
15		成果発表	演習